

2022年度財務諸表に対する注記

2023年3月31日現在

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸図書および、貯蔵品の評価基準および、評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額および、その残高

特定資産の増減額および、その残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	5,239,660	739,385	0	5,979,045
IRG56日本大会開催引当資産	15,200,000	0	0	15,200,000
当協会積立金	9,000,000	0	0	9,000,000
賛助金	6,200,000	0	0	6,200,000
合 計	20,439,660	739,385	0	21,179,045

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	5,979,045	0	0	[5,979,045]
IRG56日本大会開催引当資産	15,200,000	[6,200,000]	[9,000,000]	0
合 計	21,179,045	[6,200,000]	[9,000,000]	[5,979,045]

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および、当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累 計額	当期末残高
什器備品(レジストグラフ)	1,438,500	1,438,499	1
合 計	1,438,500	1,438,499	1